



～3年次教育実習がありました～

本校の大切な役割の一つである「教育実習」が、8月19日から9月1日までの10日間(除土、日)行われました。今回実習したのは、教育学部特別支援教育専攻3年の学生9名です。小学部に4名、中学部に3名、高等部に2名の学生が配属されました。

今号では、3年次教育実習の様子を紹介します。

【授業参観、授業実習】

指導教諭の授業を参観したり、教育実習生同士で授業を見合ったりした上で、指導教諭の指導を受けながら、実際に授業をします。様々な工夫をした授業に、児童生徒も思わず身を乗り出して、実習生の話しに耳を傾けています。



【授業研究、打合せ】

授業参観や授業実習の合間に図書室に戻り、次の授業のための準備や教材研究をします。放課後は、指導教諭と一日の反省や次の授業に向けた話し合いをします。時々、実習生の鋭い観察眼や新鮮なアイデアに驚かされることもあり、我々教員にとっても貴重な学びの機会になります。



＜本校で実習してみたの感想＞ 教育実習生にインタビューしました。

- 先生方も子どもたちもみんな、優しく、温かくて、学校に来るたびに励まされました。
- 正直なところ、疲れを感じることもあったのですが、子どもたちの顔を見ると疲れが消えていく気がしました。子どもたちからたくさんのことを学んでいます。
- 自分の未熟さを痛感する毎日でしたが、新しい刺激が多く、実り多い10日間でした。ありがとうございました。

教育実習はこの後、9月12日から「学校生活体験実習」「医学部統合実習」、9月26日からの「4年次教育実習」「教職大学院集中実習」と続きます。教育実習生にはもちろんのこと、児童生徒そして教職員にとっても有意義な時間にすべく、今後も努めて参ります。

